

# 教育計画とグランドデザイン

## 1 学校経営方針 「信頼・知恵・勇気」そして「温かく・厳しく」ありたい

確かな学力の定着と生徒理解を深めるために、教師の授業力と指導力の向上は欠かせない。また、生徒に夢や目標をもたせ、やる気、元気の出る人づくりを目指すために四つの重点を置く。

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| ① 学力を確実に定着させる学校                         | ③ 学校を内外に開くとともに、生徒の生命と身体の安全が確保できる学校 |
| ② 生徒理解に努め、人権やいじめ、人間関係に配慮して生徒の心が安定している学校 | ④ 生徒に夢や希望をはぐくむ学校                   |

## 2 願う学校の姿 「楽しく、温かく、厳しい」学校

- ① 懸命に学習に取り組む生徒
- ② 懸命に教材研究し、力のつく授業、意欲関心の湧く授業を目指す教師
- ③ 美しく整備された学習環境
- ④ 明るく元気な「あいさつ」が交わされる学校
- ⑤ 地域の一員・蛭塚中学校生徒としての自覚と責任、誇りを持った生徒

## 3 経営の力点

### (1) 生徒指導 「子どもの心に寄り添い、共に育つ生徒指導」

- ・日本一の蛭塚中学校を目指す。「AIM FOR THE TOP」
- ・失敗をおそれず、やれないことやできないことを積極的に指導支援する姿勢をもつ。
- ・時間や場所にかかわらず、あらゆる場面で子どもに対応できる学校でありたい。
- ・心が躍り、震えときめくような感動ある体験場面を多く設定する。
- ・生徒と向き合い、根負けせず、社会の決まりを教え、正義感を培い、人としての生き方を自問させ、夢と希望を持って生きていく勇気を育てたい。

### (2) 進路指導 「自己決定、自己実現を支える進路指導」

- ・子どものやる気を重視し、夢や希望を持つことをしっかりと支える。
- ・学校は「子どもたちがどんな人間になりたいかを学習する場である」ということを意識して取り組む。
- ・「豊かな人間性を持った人が育てばよい社会になる」「次の世代を大切にできない社会は自滅する」という強い信念と自戒の念をもつ。

### (3) 教科指導 「授業は学校が提供する最高の宝物である」

- ・日々の授業こそが、学校の命ということを強烈に自覚する。
- ・子どもたちに成就する見通しを持たせ、知的好奇心に火を付けられる教師を目指す。
- ・単元を見通した指導と教師自身の「わくわく」した意気込み、気合いを大切にする。
- ・子ども一人一人の差異に応じた指導方法、指導体制を工夫する。個別化、習熟度別の指導を充実させる。

### (4) 道徳指導 「日々の一刻一刻で「徳育」を意識し「心の耕し」に努めよ」

- ・本物に触れさせ、豊かな感性を醸成する。
- ・体験や実感を通じた指導を重視して倫理観を高める。
- ・道徳の時間は、日々の生活で育まれる「徳」を深化補充する場面ととらえる。

### (5) 総合的な学習の時間 「多面的・総合的な観点による進路指導＝「生き方指導」

- ・中心的な題材を「将来の生き方を考える学習」とし、広義な進路学習を重点的に行い、子どもたちの「生きる力」を育む。
- ・学習の方法として、自然体験、ボランティア活動などの社会体験やグループ学習、異年齢集団による学習、地域の人々の参加による学習、地域、自然、施設を積極的に生かした学習など様々な方法を取り入れる。

### (6) 生活指導 「自浄力のある生徒・集団、自己指導のできる生徒・集団の育成」

- ・理解（納得させる）、技能（やり方を身に付けさせる）、意欲関心（やる気をもたせる）をおさえた生活指導を展開する。
- ・自己肯定観もてる、自己決定の場面、人間的なふれあいの場面を重視した生活指導を行う。美しい生き方を意識して指導にあたる。

### (7) 地域に根ざした学校 「情報の連携」から「行動の連携」へ

- ・教育活動を開くことにより、学校への信頼を確立する。
- ・授業支援ボランティア、公開週間、蛭塚キッズなど保護者、地域と連携した活動を積極的に展開する。
- ・学校だより、学校ホームページ、学校掲示板を充実させ「常に情報公開」の体制を確立する。
- ・学校評議員会・保護者アンケートなど、積極的に外部評価をとり入れる。

### (8) 発達支援教育 「何が子どものためか」という視点に立つ心を込めた対応

- ・委員会の設置とコーディネーターの位置付けを行い、研究、研修と保護者、地域への啓発活動に取り組み始める。
- ・発達支援教育指導員と発達支援教室の活用について、実践的研究に取り組む。

### (9) 勤務・サービス 「公務員としての自覚と責任」

- ・自問自答の精神と公務員としての自覚を持って職務にあたり、信用失墜行為の撲滅を達成する。
- ・学校組織は共同体ではなく機能体であることを確認し、互いに切磋琢磨する教職員集団であり続ける。

# 教育課程

## 1 年間授業時数

教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技・家	英語	選択	総合	道徳	学活	合計
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	105	0	85	35	35	1015
2年	105	105	105	140	35	35	105	70	105	35	105	35	35	1015
3年	105	90	140	105	35	35	105	35	105	70	120	35	35	1015

## 2 教育課程の工夫と特色

内容	方法	目的および実践
1 基礎・基本の定着	複数教科担任制	数学、社会、理科、英語、保健体育、総合で実施
	質問道場	生徒同士の教え合い活動 教科担任の個別支援
	学力分析	定着度評価をうけてのBP、CP、度数分布表を活用した学習の定着確認
	個別支援検討部会	コーディネーターを中心にMLT、スクールカウンセラーを交えた個別支援の検討
	MLT(発達支援教育指導員)	校内巡回による個別支援(全教科) 個別学習室での個別支援(数学、英語等)
	教科学習クリニック	学力保障の機会 長期休業中の補充学習
	トレーニング学習	家庭学習習慣の定着 予定帳『MJ(majesty)』の学習コーナー
2 多彩な人材活用	チャレンジ検定	校内検定(漢字読み書き、四則計算、英単語読み書き)
	検定チャレンジ	校外検定(漢字検定、計算能力検定、英語検定)の奨励
	ALT	英語科(必修英語、選択英語) 昼休み英語ルームの開設
	IT教育支援ボランティア	静岡大学情報学部学生による支援 情報機器操作の技能向上
	環境整備ボランティア	校内環境の整備 資源物回収
	図書館ボランティア	読書の奨励 本の貸出 本の紹介
	読み聞かせボランティア	情操教育 本の読み聞かせ
3 生き方指導	授業支援ボランティア	保護者による授業支援、授業参観
	おやじネットワーク	父親による夜間パトロール、生徒指導
	スクールカウンセラー	「自分を見つめる」機会の支援 教育相談活動の充実

## 3 評価・評定

「絶対評価」を取り入れ、生徒自身が各教科の到達度目標をいかに達成できたかを評価・評定しています。各教科の到達度目標は本校のホームページに掲載しています。

<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/shijimizuka-j/>

# 校内研修

## 1 研修テーマ

生徒・保護者・地域及び学校の願いを生かし、誰もが夢や希望をもって成長することのできる学校づくり  
～ 開かれた学校づくり ・ 学校を内に外に開く ～

## 2 研修テーマについて

学校は、生徒や保護者・地域の願いを生かしながら、生徒の成長を保障する存在でありたい。そして生徒一人一人が自分の将来に夢や希望といった期待感をもって、互いの成長を認め合えるような学校でありたい。そのために、地域や保護者に教育活動を常に公開し、学校運営への積極的な参加を通して、互いに連携し、子どもを育てていく。また、教職員同士が互いの授業を公開し合い、磨き合っていく。そうして子どもたちが互いに自分を表現することに意欲的に取り組み、自己肯定感をもち、学ぶ喜びを実感できる授業を展開していく。

## 3 平成22年度の具体的な取り組み

### 研究推進計画

「生徒・保護者・地域及び学校の願いを生かし、誰もが夢や希望をもって成長することのできる学校づくり」を目指して、生徒・保護者・地域の願いや実態を把握し、その後以下のことを行う。

- ものごとの価値を自分なりにとらえられ、自分の考えに自信がもてる生徒に育てるために、生徒の自己評価力を高める教育課程を創造する。
- 個に応じた適切な指導のあり方や評価のしかたなどを通して、生徒が自己の学び方に対する自信と学習意欲を高め、「自尊心」や「確かな学力」を育む。
- 指導や評価は、生徒・保護者・地域の方々から理解・信頼されるものにするため、質の向上を図る。
- 教育実践において、保護者や地域の方々の参画をいかに図るかを研究する。
- 教育実践の有効な公開のしかたを研究する。※平成22年11月4日に発表会を実施

# 学校教育目標

## 豊かな心を持ち、ねばり強く実践する生徒の育成

### めざす学校像

誰もが安心して精一杯学び合うことのできる学校

### めざす生徒像

思いやる心を持った生徒

自ら学ぶ力を身に付けた生徒

やりぬく力を身に付けた生徒

## 蛭塚中人づくり2010

地域の資源（人・もの・こと）を生かした

豊かなかかわりによる「心の耕し」

地域の歴史・文化・伝統・自然・環境を学ぶ、地域に開かれた活動を実施したり、特別活動や道徳の授業の充実を図り、心豊かな子どもを育てます

「はままつ子どもふれあい週間」にちなみ、地域の子どもに声をかけ、温かく見守る活動を行います

- ◆ふしぎの国へいらっしやい ◆翠玉祭 ◆修学旅行
- ◆野外活動 ◆職場見学 ◆体験学習 ◆生徒会活動
- ◆50周年記念式典 ◆フラワーブラボーコンクールへの参加

- ◆蛭塚中学校区健全育成会ふれあいウィーク

### 学校を内外に開き、生徒の生きる力をはぐくむ

保護者・地域の高い教育力を生かし、開かれた学校づくりをします

「確かな学力」を育成するために教育課程を工夫し、指導法の研究をします

- ★授業支援ボランティア
- ★図書ボランティア
- ★読み聞かせボランティア
- ★情報教育ボランティア
- ★環境整備ボランティア
- ★おやじネットワーク
- ★学校評議員

- 複数教科担任制 ●個別支援
- トレーニング学習 ●質問道場
- 学習クリニック ●学力分析
- チャレンジ検定 ●ALTの活用



## 平成22年度 浜松市立蛸塚中学校 学校経営書

〒432-8018 静岡県浜松市中区蛸塚二丁目15番1号

TEL 053(453)0171 FAX 053(453)0172

E-Mail shijimizuka-j@city.hamamatsu-szo.ed.jp

ホームページ <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/shijimizuka-j/index.htm>

昭和32年(1957年)12月10日 浜松市立中部中学校蛸塚教室として第2学年が移転、授業開始  
 昭和33年(1958年)4月1日 広沢地区1、2年を収容  
 昭和34年(1959年)4月1日 広沢地区全学年を収容  
 昭和35年(1960年)4月1日 浜松市立蛸塚中学校開設  
 昭和61年(1986年)3月31日 分離により佐鳴台中へ転出(1年59名、2年71名)  
 平成元年(1989年)11月10日 創立30周年記念式典  
 平成22年(2010年)11月21日 創立50周年記念式典

No	職名	氏名	教科	備考	No	職名	氏名	教科	備考
1	校長	材木 定			20	教諭	鈴木 健太	数学	健全育成会・掲示
2	教頭	今村ゆかり	国語		21	教諭	渡邊 龍平	社会	特別活動
3	教諭	細田 昭博	理科	PTA	22	教諭	佐藤 文彦	英語	生徒会
4	教諭	足立 俊彦	数学	安全防災・50周年	23	教諭	清水 敦子	家庭	給食・食育指導
5	教諭	鈴木 文夫	国語	教務	24	養護教諭	伊藤 寿子		保健主事
6	教諭	高木みどり	音楽	美化・環境教育	25	事務主査	幸田 啓子		地域指導
7	教諭	牧野 周三	保健体育	3年主任	26	講師	太田 将仁	理科	人権教育・国際理解
8	教諭	河合 司	数学	1年主任	27	給食員	伊藤美保子		
9	教諭	太田 篤宏	美術	2年主任	28	給食員	鈴木二美子		
10	教諭	内山 文宏	社会	生徒指導・発達支援	29	主任用務員	杉山 学		
11	教諭	仲村 篤志	理科	進路指導・情報教育	30	パート給食員	片岡 好江		
12	教諭	倉知 恵理	国語	道徳・学習指導	31	パート給食員	桂 久美		
13	教諭	中村真由美	英語	研修	32	新採指導	清水 球恵		
14	教諭	河合 丈志	社会	生徒会・生活指導	33	非常勤講師	鈴木 里美	英語	
15	教諭	伊藤 和美	英語	休職中	34	発達支援教育	五味美津子		発達支援
16	教諭	嶋田 喜守	技術・家庭	情報教育	35	スクールカウンセラー	高橋いつ子		
17	教諭	中村 里恵	英語	学籍	36	A L T	Matthew Boomhower	英語	
18	教諭	馬淵 元余	国語	書写・図書	37	図書館補助員	町井 恵子		
19	教諭	鈴木 健太	保健体育	部活動・学校開放	38	新採後補充	田中 静香	家庭	

学年	1 年					2 年					3 年				
学年主任	河合 司					太田 篤宏					牧野 周三				
学年付き	鈴木恵理					足立 俊彦					内山 文宏 仲村 篤志				
組		男	女	計		男	女	計		男	女	計			
1 担任	細田 昭博	17	12	29	中村真由美	18	15	33	馬淵 元余	20	16	36			
2 担任	渡邊 龍平	17	13	30	太田 将仁	18	15	33	佐藤 文彦	20	15	35			
3 担任	鈴木 健太	17	12	29	清水 敦子	18	15	33	鈴木 健太	20	15	35			
4 担任	中村 里恵	16	13	29	河合 丈志	17	16	33	嶋田 喜守	20	16	36			
5 担任	高木みどり	17	12	29											
各学年生徒数	1年合計	84	62	146	2年合計	71	61	132	3年合計	80	62	142			
全学年生徒数	全校男子	235			全校女子	185			全校生徒	420					